



小中学校のトイレ改善拡充を

市内小中学校の衛生設備について



今後は子どもたちの衛生面や災害時には避難所になることを考慮し、トイレの洋式化や車いすの方が利用できる多目的トイレの設置を、学校の要望を聞きながら老朽化対策工事などと併せて実施していく。

議員

災害時などには、学校に避難し、必ずトイレは利用するので非常に大事である。また体育館のトイレは数が少なく、時期によっては並ぶことも考えられる。そのような要望はPTAからあがっていないのか。

学校教育課長

市内小中学校の衛生設備でトイレの改善や拡充について伺う。新築時やリフォーム時に和式のトイレをつける方は少ない。また、手すりをつけてくれといった保護者の方から要望などもあると思うが、その実態と取り組みはどうなっているか伺う。

議員

トイレの改修については、耐震補強工事の実施と併せて、洋式化や多目的トイレの設置などを実施してきた。現在、小中学校のトイレの洋式化率は48%で、

新田 宏安 議員

体育館のトイレの洋式化と目的化については、具体的に要望は聞いていない。現在、学校施設の長寿命化を計画しており、まだ当課の計画段階ではあるが、そのような機会を捉えながら順次進めていきたいと考えている。

議員

洋式で育った子どもたちが、保育園に入園して、和式は嫌だということなどで改善したという話や小学校に入学して和式だったので、トイレを我慢して帰ってきた子どもたちがいたという話も聞いている。そのような意見や要望を聞きながら、改善をお願いしたい。

問 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 質 問



市内は一つのエリア

ごみ処理（一般廃棄物）について



これで決まったのか経緯を尋ねる。生活環境課長

会社の規模やこれまでの経緯、地域の特色などを鑑みて市と業者間で協議をして決定している。

議員

災害などが発生し、業務にあたれないといった、さまざまな事態の場合、リスク軽減の意味でも配分割合の大きな差の解消について、均等化に向けた協議検討といった見直しをする考えがあるか尋ねる。

議員

市に限らず、県内外の自治体も同様の状況と思われるが、リスクヘッジなどさまざまな状況に対応できる方法を研究していきたい。

議員

当市も合併し11年が経過し、北海道、石下という分け隔たりなく、常総市は一つのエリアとして配分割合の見直しを行い、均衡性を図っていくことを提案したい。市長の考えを尋ねる。

議員

何かあった場合のリスクヘッジも含めて検討する時期になっている。常総市が一体となり総合的に市民の皆さんにとって一番いい形を模索しており、配分も含めて検討していきたい。

関 優嗣 議員

現在、北海道、石下地区の一般廃棄物の回収（ごみ収集運搬）は委託業者は何社で行われているか。また、各委託業者の請負配分の割合を尋ねる。

議員

議員

北海道地区4社、石下地区2社で行っており、配分は北海道地区4社それぞれ36%、31%、22%、11%で、石下地区2社それぞれ82%、18%となっている。

議員

この委託先への配分の割合にはばらつきがあり、どういう流れ